

# 2014年度商社リーグ 第一回代表者会議 議事録

日時	9月1日(月)20:00～22:00
会場	住友商事本社
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	JFE商事/進藤、市山

議題	内容
----	----

<b>目次</b>	<p>※以下敬称略</p> <p>1 資料配布(クモの巣グラフ、MC・不可日申請・チームデータ・ML提出状況報告書)</p> <p>2 本日の主旨説明</p> <p>3 商社リーグ・会議について</p> <p>4 チームデータ提出状況報告</p> <p>5 ML提出・登録状況報告</p> <p>6 MC報告書状況報告</p> <p>7 不可日申請状況報告</p>
-----------	--

＜出席者名簿＞			
役員会	金田会長、北川、宮内		
岩谷産業	湯川	日鉄住金	遠西、石橋
住友商事	大重	長瀬産業	作田、吉田
伊藤忠商事	松山、堀	蝶理	松本、近藤
三井物産	勝岡	阪和興業	伊藤、増田
双日	小島、渥美、高瀬	日立ハイテク	中鶴、佐野
丸紅	福井、高橋	三菱商事	茂木
日本ユニシス	玉井、仁科		
豊田通商	樋口		
JFE商事	進藤、市山		
兼松	小谷、吉村		

<b>内容</b>	<p>1 資料配布 クモの巣グラフ、チームデータ提出状況、ML提出状況、MC報告書提出状況、不可日申請状況資料配布。 詳細は各社持ち帰りの資料参照のこと。</p> <p>2 本日の主旨説明(役員会/北川) 今後の円滑なリーグ運営を目指して、初回の各チームの提出物状況を各チーム代表者間で共有することが目的。 期日遅れや不備のあったチームについては、今時点でチーム内のオペレーションを確認してもらいたい。</p> <p>3 商社リーグ・会議について(役員会/金田会長)</p> <p>① 商社リーグを行う目的、意図の再確認 「中長期に見た組織のためには5W1Hのどれが重要か」経営学的考えと商社リーグを重ね合わせてみる。 →上記についてはwhyが最も大事という結論。尚、whyとwhatのリンクの割合が大きさによって経営の良し悪しを図ることが出来る。 ・なぜ会社のサッカー部で活動しているのか ・なぜ商社リーグに参加しているのか 上記2点をもう一度考えて欲しい。 加えて、商社リーグのコアバリュー(前回会議で確認済み) ・PASSION/パッション ・PUNCTUAL/パункチュアル ・PROFESSIONALISM/プロフェッショナルリズム ・PRIDE/プライド ※上記コアバリューが、商社リーグを他のリーグと差別化して考えられるポイント。 ※加えて、商社リーグにおいては加盟メンバーが「参加者」と「経営者」の二つの軸を持って活動する必要があることがポイント。 →「Conflict of Interest」を解決することは商社マンにとって重要なことである。</p> <p>② 商社リーグ会議について ・今回は初めて参加の割合が多かったため、会議開催の主旨の説明。 ・できるだけ前回の引き継ぎ会議に出た人の方がベター。 ・始めて出席する人の場合は前者からの引き継ぎを確実にに行い、過去1年分の議事録については必ず目を通した上で出席すること。 ・昨年度の会議内容のメインは問題・クレーム対策となってしまった。 →今回は上記のようなネガティブな議論に時間を使いたくないので、各チームには商社リーグの要綱を中心とするルールについて、「why」と「what」を結びつけて行動をして欲しい。</p> <p>4 チームデータ提出状況報告(日立ハイテク/中鶴) 提出期限(7/31)、書類不備の面から日立ハイテクの5点満点の採点。 16チーム中8チーム問題なし。その他下記チーム提出期限、書類に不備あり。 ・岩谷産業(1点)→8/4提出。ユニ変更に伴い期限内の提出間に合わず。昨年の写真で期限内7/25には提出。 ・双日(1点)→8/27提出。ユニ変更に伴い期限内の提出間に合わず。昨年の写真で期限内7/25には提出。 ・豊田通商(3点)→住所、書式に不備あり。 ・伊藤忠商事(3点)→ML登録の記載なし。 ・丸紅(3点)→昨年の写真で提出しており、再提出。 ・蝶理(3点)→身長に記載ミスあり。 ・阪和興業(3点)→書式に不備あり。 ・長瀬産業(3点)→氏名の記載ミスにより再提出。書式に不備あり。 *写真再提出以外は全て日立ハイテク側で訂正済み。 ・今回の担当業務について費やした時間は計:12時間程度。</p> <p>5 ML提出・登録状況報告(JFE商事/市山)</p> <p>① ML提出状況 提出期限(7/31)、期日通り登録を行えば5点、期日遅れは0点のJFE商事の採点。 16チーム中12チーム問題なし。その他下記チーム期日遅れ。 ・豊田通商(0点)→期日遅れ。8/11提出。 ・伊藤忠商事(0点)→期日遅れ。8/5提出。 ・兼松(0点)→期日遅れ。8/5提出。 ・長瀬産業(0点)→期日遅れ。8/6提出。 各社訂正箇所なし *双日の社内セキュリティの問題でMLが届かなかったが、双日幹部と連絡を取り、改善された。</p>
-----------	---

- ② ML登録状況  
招待人数→330人 登録人数→140人  
(各社最低3人以上は登録している状況)  
※JFE商事側からML登録は促してはいるが現状はこの状況。  
今年からMLのシステムが変更となり、まだ浸透していない部分がある。
- 【改善提案】  
下記三点について、JFE商事にて確認をし、報告すること。  
・各社のML登録の具体的人数を把握して報告して欲しい。  
・最低でも各社5人以上はML登録するように促して欲しい。  
・ML登録のシステムを複雑にしているクリック承認をJFE側で、なくすことはできないのか確認する。  
(※従来のYahooのMLでは、承認システムが無かった。)
- 6 MC報告書提出状況報告(阪和興業/伊藤)  
提出期限、内容不備の面から阪和興業による5点満点の採点。  
現時点では6試合のMC報告書提出済み。3試合の報告書に不備あり。  
・MC住友商事(3点)→両者のスコアが逆に記載。(日立ハイテクVS丸紅)  
・MC阪和興業(3点)→試合日時を誤って記載。(豊田通商VS岩谷産業)
- 【改善提案】  
・マネージャーズミーティングを実施しているので、上記のようなミスは無くなるはずではないのか。(蝶理/近藤)  
→実際に現地で記入したMC報告書(サイン済み)については記載内容合っていたが、Excel版への転記ミスにより、誤記が生じた。(住友商事/大重)  
・日本人はサインを軽視する傾向があるが、MC報告書も含めサインの重要性を理解して対応をすること。(金田会長)
- 7 不可日申請状況報告(住友商事/大重)  
提出期限(7/31)、内容不備の面から住友商事による5点満点の採点。  
今回は減点対象チームはなしだが、一部問題あり。  
・三菱商事→リーグ参加費の支払い遅延。  
・JFE商事→期限を過ぎての提出になったが、主幹事案内メール宛先漏れがあった為、減点は無し。  
・今回の業務に要した時間は計:3時間程度
- 【不可日申請について】  
・基本的に不可日と認められる理由は、要綱に記載の通り、「都リーグ、社内行事(総会、部員冠婚葬祭)」のみ。  
・上記以外は役員会判断となるが、不可日申請が多いチームは、リーグ運営に支障を与えることを認識する必要がある。  
→各社のモラルに任せる面もあるが、上述の通り「参加者」としての利益と「経営者」としての利益を考慮して行動すること。  
(※過去に、日程調整ができず、1シーズンを消化するのに2年間を要したことがあった。  
→不可日申請はリーグの終わりの始まりの予兆になると言える。)
- 【審判の質について】  
・不可日申請の問題と同様、審判の質は過去リーグでも何度か取り沙汰されてきたリーグの質に関わる問題。  
→要綱に明記されているが、ハーフタイムに両チームキャプテンから要望があった場合、審判の交代(MC担当が交代する)が可能である。  
→上記の通り、特別なルールを作ることで、対策を講じている。(キャプテンマークに重みをもたせているので、必ず着用すること。)
- 8 まとめ挨拶(役員会/宮内)  
・「why」と「what」の関連付けることで各種ルールの理解を徹底し、今年度は減点事例が出ない様に行動して欲しい。  
・「参加者」として、「経営者」として、両面でPrideを持って1年間活動をして欲しい。

以上